

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2022-23

第 02616 号 発行日 令和 4 年 11 月 30 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イマジン
ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ R I 会長

本日のプログラム

移動例会
佐藤米菓(有)工場見学

次週のプログラム

年次総会
半年を振り返って

会長／潮田 武彦 副会長／早瀬 浩一 幹事／神山 芳子 会長エレクト／宮田 憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2998回 2022/11/9日(水)

来 訪 者 ようこそ下館RCへ

軽 部 守 彦 地区財団委員(下妻RC)

趙 龍 賢 (チョウ・ヨンヒョン) 米山奨学生

会 長 挨 拶 潮 田 武 彦 会 長

先週の「新井和雄直前ガバナー博士号学位授与を祝う祝賀例会」皆様のご協力のおかげで、盛大にお祝いすることができ安心しました。ありがとうございます。病気のために欠席してしまい、たいへんご迷惑をおかけしました。発熱してしまい、コロナウイルスのことも鑑みて欠席させてもらったのですが、コロナウイルスではなく風邪ということで、病院で診察を受けてホッとしました。まだ体が本調子ではないのですが、また頑張っていきたいと思います。

さて、今月のロータリー月間は「ロータリー財団月間」となっております。皆様、特別寄付のご協力よろしくお願いします。また当クラブのポールハリスソサエティの会員数は現在3名となっております。区内では、結城RCが6名で一番会員数が多いようです。毎年1000ドルの寄付なので、今年は円安でちょっとたいへんですが、もしご協力いただける方がおりましたら、よろしくお願いします。

現在、ロータリーでは、「20億2500万ドルの恒久基金を2025年までに築く」という目標をたてております。世界的にも非常に多い寄付額となっておりますが、そんな財団寄付の始まりの歴史を調べたところ、ロータリー財団の創始者はアーチ・フランクさんで、1917年、アトランタ国際大会で、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べ、この提案が「ロータリー基金」という名前でスタート、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として認証されました。よって彼は、「ロータリー財団の父」とたたえられています。1917年に、カンザスシティー・ロータリークラブからの26ドル50セントの寄付金から始めた財団基金は、6年たっても基金の残高はやっと700

ドルに達したに過ぎなかった。(約140万円)で初期はたいへん寄付金集めに苦勞されたようです。そんなたいへんな思いで始まったロータリー財団は、今日、まさしく、「世界中で善いことをする目的」の使用されております。最初は一人の思いから始まったものですが、それが今日世界中のロータリアンの皆様のご協力のもと、世界中の人々の為になる活動の源になっております。ネットを検索するとでてきますので、ぜひともまた読んだことのない方は、読んでいただくと、ありがたいと思います。

それでは、本日もよろしくお願いします。

理 事 会 報 告 神 山 芳 子 幹 事

①クラブの改革について

宮田会長エレクトへの提案

②2021-22 決算報告 宮田前幹事

③新井和雄直前ガバナー祝賀会決算報告

宮田会員

④クリスマス例会および3RC新年会企画書

親睦委員会

⑤国際奉仕 この指とまれ GG進捗状況

日立RC共同提唱 協賛金10万円

⑥1月プログラムについて

⑦地区委員推薦の件

RLI委員会：継続 潮田会員

米山記念奨学会学友委員：継続 神山会員

⑧希望の風 協力の件 藤居パストガバナー

クラブより1万円送金

⑨しもだて紫水RC会長より

道の駅長入会の件

幹 事 報 告 神 山 芳 子 幹 事

○岩瀬ロータリークラブより

休会のお知らせ 11月2日・23日(水)

○米山奨学会学友会主催大洗海岸清掃への協力

12月4日(日)10時集合

○大野ガバナー事務所より

国際奉仕セミナー案内

○大久保ガバナーエレクト事務所より

次年度会長幹事報告書 地区委員推薦依頼



趙龍賢米山奨学生へ奨学金の授与



2022-23年度R財団出前卓話

軽部守彦 地区財団委員



財団って何なの？

- ・ロータリー財団とは、財団の使命...
- ・財団資金の流れ、新井年度の具体的行動指針...

補助金について

- ・地区補助金、グローバル補助金
- ・奨学金、職業研修チーム...

その他

- ・PHS、ポリオプラス、ロータリーカード
- ・財団からのお願い...

ロータリー財団とは

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。ひとつひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、

- ・人びとの健康状態を改善し、
- ・質の高い教育を提供し、
- ・環境保全に取り組み、
- ・貧困をなくすこと

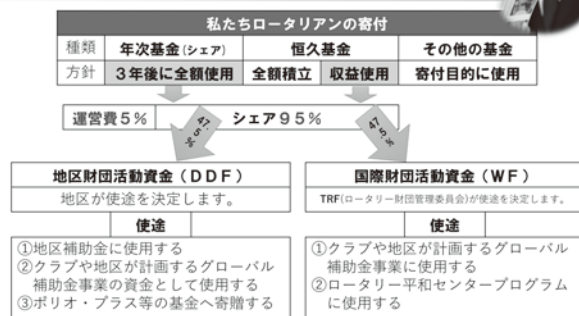
を通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

最高の4つ星評価

ロータリー財団は、世界で最も効果的で管理の行き届いた慈善組織の一つとして、非営利団体の格付けを行うチャリティナビゲーターから14年連続で最高の4つ星評価を受けました。

重要なのは、ロータリー財団を通じてクラブによる素晴らしい活動が実現されること、そしてこれを可能にするのが支援者からの惜しみないご寄付であるということです。

シェアシステムによる財団資金の活用



大野年度の具体的行動目標

ロータリー財団の活用と支援



地区補助金を活用した地域社会への貢献
グローバル補助金を活用した国際社会への貢献
奨学生の支援
ポリオ根絶、コロナ終息活動の推進
公平性の高い財団寄付の推進
ロータリーカードの推進

- ✓ 年次寄付150ドル
- ✓ ポリオ30ドル
- ✓ ベネファクター：クラブ1名
- ✓ PHF・PHS：地区70名
- ✓ MD・AKSの推進

大野年度目標寄付額



年次寄付
ポリオ

150ドル以上
30ドル以上

会員1人あたり 180ドル以上
(世界で良いことをするために寄付ゼロ・クラブは無くしましょう)

恒久基金(ベネファクター) 1,000ドル
(1クラブ1名以上お願いします)

ポールハリスソサイエティー 1,000ドル以上
(年次+ポリオ+指定寄付≥毎年1,000ドル)

補助金

ロータリー財団は、世界各地でロータリアンが実施する活動を支えるための補助金を提供しています。

467 地区補助金の数	55 災害救援補助金の数	2066 グローバル補助金の数
3110万 寄付総額(ドル)	310万 寄付総額(ドル)	1億3000万 寄付総額(ドル)

※2020-21年度

- 地区補助金(DG: District Grant)
地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。
- グローバル補助金(GG: Global Grant)
ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。
- 災害救援補助金
災害により被災した地域での救援および復興活動を支援します。



災害救援補助金

災害の被害に遭った地区は、独自のプロジェクトを立ち上げたり、復旧活動を援助するために他の定評ある救援団体と協力したりするために、ロータリー災害救援補助金を活用することができます。補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本品目の提供のために使用することが認められます。ロータリー補助金の参加資格認定を得ている被災地区は、最高25,000ドルまでを申請可能です。

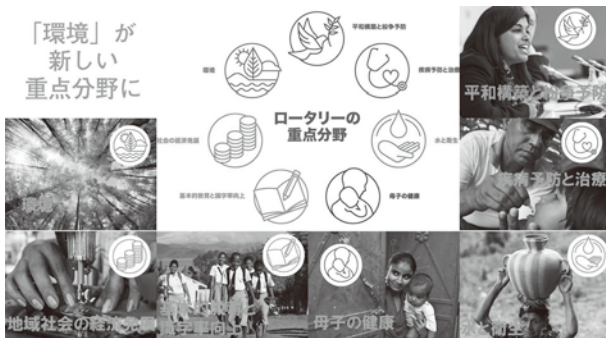
＜申請方法＞
地区ガバナーと地区ロータリー財団委員長がロータリー災害救援補助金申請書に記入し、grants@rotary.org に申請します。

報告書の提出は速やかにお願いします。

報告書の提出は速やかに

1. 報告書 原本はクラブ保管、写しを1ヶ月以内に提出
2. 収入と支出、合計金額の一致を確認
3. 「受領した地区補助金額」欄には、受領した金額を記載
4. プロジェクト内容、実施金額に、申請書と報告書とで乖離がないように
5. 報告書署名欄は自署（活字はだめ！）
6. 添付書類は、請求書（写）・領収書（写）・記録写真4枚以上（集合写真ではなく活動が分かるものを！）
7. 新聞等に掲載された時は、その切り抜き記事
8. もう一度、原本はクラブで保管（5年間）、提出はPDFでガバナー事務所に

7つの重点分野



スマイルBOX 鈴木 健一 副委員長



お祝い事

会 員 誕 生 瀧田昌甫さん・潮田武彦さん

パートナー誕生 小林一彦さん・葉 章二さん

結 婚 記 念 関谷 徹さん・堀江 勤さん

▶軽部 守彦さん 地区財団委員卓話させていただきます。

▶新井 和雄さん 先週はありがとうございました。下館RC会員の皆様に心より感謝申し上げます。

▶潮田 武彦さん 地区財団委員 軽部様、ようこそ下館RCへ。本日の卓話宜しく申し上げます。

▶神山 芳子さん 地区財団委員 軽部さん、ようこそ。先週はありがとうございました。

▶宮田 憲一さん 本日は、軽部様ご指導宜しくお願い致します。

▶永井 啓一さん 軽部財団委員、卓話宜しく申し上げます。

▶堀江 勤さん 地区財団委員 軽部様、卓話宜しく申し上げます。

11月10日の佐藤米菓の職場訪問、多くの方の参加をお待ちしております。

▶鈴木 隆朗さん 軽部様、卓話宜しくお願い致します。

▶葉 章二さん 軽部財団委員、卓話宜しくお願い致します。

▶鈴木 健一さん 地区財団委員 軽部守彦さん、卓話宜しく申し上げます。

本日の合計 46,000 円

累計 383,000 円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
24	13	6	1	4



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。